

I am from Fairbanks, Alaska; The land of the midnight sun. Fairbanks is only 220 kilometers away from the Arctic Circle, the point at which the summer sun stays in the sky for 24 hours a day. While the winters are very cold in the interior of Alaska, normally reaching -40 degrees Celsius for three to four days, the summers can get just as hot, reaching 23 degrees, making it one of the most variable temperature places. As a result of being so close to the Arctic Circle, the sun sets at about 2 AM in the morning for a couple of hours. There is a Midnight Sun Baseball game played in the evening light at 11 PM.

I was usually watching or running in the Midnight Sun Run, a 10 km race from the university to a local park. Everyone enjoys the costume contest that some of the runners choose to participate in. There are lots of people who watch as they run through the neighborhoods.

There is also a celebration downtown until the sun sets, with a variety of things to eat, activities and games, and music to listen to. Elephant ears (fried dough), pretzels, and churros make it an American style festival, alongside all of the restaurant food booths and even a few small carnival-style attractions. It is fun to run into friends as we wander the streets. I am looking forward to seeing the festivals that both Hirono and Iwaki have to offer.

Anyway, I hope you have a great day, talk to you later.



ALT Leonard レナド

英語であれこれ ②

私は「白夜の地」アラスカ州フェアバンクス出身です。フェアバンクスは、北極圏からわずか220キロメートルの距離にあり夏の間、太陽が24時間空に留まるところです。冬は、アラスカの内陸部は非常に寒く、通常マイナス40度まで下がる日が3~4日間続きますが、夏は反対に暑くなり、最高気温は23度まで上がることもあり、ここは最も気温の変化に富んだ場所の1つです。北極圏に非常に近いということから、太陽は午前2時頃に沈み、数時間だけ暗くなります。午後11時に、夕闇の光の中行われる「ミッドナイト・サン・ベースボールゲーム」があります。

私は普段、大学から地元の公園まで走る10キロレース「ミッドナイト・サン・ラン」を観戦したり、走ったりしていました。参加するランナーの中には仮装コンテストに参加する人もいて、皆がそれを楽しんでいます。ランナーが近所を走り抜ける際、多くの観客が集まります。

また、日が沈むまで中心街ではお祭りが開催され、様々な食べ物や催し、ゲーム、音楽が楽しめます。エレファント・イヤーズ(揚げパン)、プレッツェル、チュロスなどが並び、レストランの飲食ブースや小さな縁日スタイルの屋台も加わり、このお祭りはアメリカンスタイルのフェスティバルとなっています。街を歩き回り、友人に偶然出会うのも楽しいものです。広野といわきで開催されるそれぞれのお祭りを見るのを楽しみにしています。

それでは、素晴らしい一日を過ごしてください。また話しましょう。



としよしつだより

読書感想文は ななめこ

◇6月新着図書 一般書 27冊 児童書 20冊  
6月10日(水)の新着図書の展開は47冊です。  
※到着状況により遅れがでる場合がございます。予めご了承ください。

図書室休室日のお知らせ

6月							7月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6			1	2	3	4		
7	8	9	10	11	12	13	5	6	7	8	9	10	11
14	15	16	17	18	19	20	12	13	14	15	16	17	18
21	22	23	24	25	26	27	19	20	21	22	23	24	25
28	29	30					26	27	28	29	30	31	

は休室日  
開室時間：午前8時30分～午後5時15分

夏休みの宿題の定番「読書感想文」。「まだ先のこと」と思っていますせんか？実は、早めに読むだけでずっとラクになるのが読書感想文です。夏休みに入ってから本を選ぶと、人気の本は貸出中だったり、読む時間が足りなかったり。6月のうちに読み始めておくと、気持ちにも時間にも余裕が生まれます。

図書室では、小学生から中学生までの課題図書を取りそろえています。「どれを選べばいいかわからない」という人も大丈夫。一人ひとりに合った本選びのお手伝いもしています。ちょっと早めの一冊が、夏をラクにしてくれる。ぜひ図書室で、自分にぴったりの一冊を見つけてみてくださいね。



◇一般図書  
あん 著：ドリアン助川  
どら焼き屋で働く千太郎の前に現れた、あん作りの名人・徳江。彼女の作るあんは、ただ甘いだけでなく、小豆と丁寧に向き合い、時間をかけて仕上げられた深い味わいを持つていました。二人の出会い、やがて千太郎の心に変化をもたらしていきます。人にはそれぞれ事情や過去があり、見えないところで苦しみや孤独を抱えていること。

そんな中でも、「生きる意味」や「自分でできること」は確かにあるのだと静かに語りかけてくる物語です。

読み終えたあと、日常の何気ない時間や、小さな営みが少し愛おしく感じられる、やさしい一冊です。

※システム修繕の為、ランキンプは無しになります。



◇児童図書  
てんてんきょうだいとまるねえちゃん 文：山田慶太 絵：田口麻由  
てんてんきょうだいと、まるねえちゃんの様子や性格の異なるきょうだいたちが、それぞれのペースで日常を過ごす様子が、リズムカルな言葉とやわらかな絵で表現されています。物語はシンプルながら、きょうだいの関係性ややりとりが丁寧に描かれており、小さな出来事の積み重ねが印象に残ります。読み聞かせにも適しており、繰り返し読める言葉やテンポのよさで、子どもと一緒に楽しめる一冊です。

本の購入リクエスト・リサイクルについて  
図書室では、利用者から本の購入リクエストを受け付けております。  
寄贈本に関しては、広野町ゆかりの図書を収集します。一般図書は可能な限り新刊本を収集します。詳しくはスタッフまでお尋ねください。

6月の企画展示  
◆一般 6月1日～  
雨の日に読みたい小説特集  
◆児童図書 6月1日～  
雨の日に読みたい絵本特集

広野文芸欄

季節を詠む 時流を讀む  
広野町俳句会 猪狩行々子選

遠藤 惠美子  
車椅子頼りの暮らし薄暑かな  
母の日や遺影の笑みの安らげく  
水草の揺れて目高のかくれんぼ  
葉桜の静寂にひとり妻を待つ  
新緑や木々にアイデンティティあり  
歩こう会の声を乗せ来る若葉風  
ポニーテールの祭衣や跳ねる汗  
世の不穏に怒る絵幟鐘馗の眼  
木漏れ日に両手を広げ初夏の風  
想ひ出を語らふ友と新茶汲む  
浅川 幸子  
白木蓮みんな空を掴もうと  
タッチパネルに注文任せ梅雨雲  
塩 史子  
八重桜食べたいような花ひらく  
田植終へ笑顔の揃ふ夕餉かな

会員募集のお知らせ

広野町俳句会では、会員を募集しています。俳句に興味のある方大歓迎です。俳句を通してみなさんと交流してみませんか。詳しくは、下の連絡先までお問い合わせください。  
問 広野町俳句会 ☎090-7063-1676